

海上自衛隊イージス艦と漁船の衝突事故や、在沖縄米軍による少女暴行事件……

——今こそ、軍事優先の日本からの脱却を！——

「ご近所のみなさん、日本共産党です。」

海上自衛隊のイージス艦が、千葉・房総沖で、マグロはえ縄漁船に衝突した事故が、大きな政治問題になっていきます。沖縄では、アメリカ兵による、少女暴行事件に対して、島ぐるみの抗議と怒りの声が高まっています。

きょうは、これらの問題についての真相究明と、基地被害をなくすための、日本共産党の見解をお話したいと思います。ご協力をよろしくお願いいたします。

みなさん。

東京湾は、漁船がたくさん往き来するところです。自衛隊のイージス艦が衝突事故を起こしたときも、被害にあった漁船「清徳丸」は、漁船団の一員として、漁に出かけるところでした。

行方不明になった、「清徳丸」の漁師親子の搜索と、身銭をきって搜索に当たってきた、漁業組合のみなさんへの補償を、政府は、誠実に行うべきです。

そのうえで、真相の徹底糾明が急がれます。

みなさん。

アメリカ軍の航空母艦を護衛する、海上自衛隊のイージス艦が、漁船に衝突するなどというのは、絶対に、あつてはならないことです。それだけに、なぜこのような事故がおこったのか、真相の徹底究明をするのが、政治の責任ではないでしょうか。

ところが、この間(かん)、次々と明らかになったのは、防衛省と自衛隊の、事実を隠す隠蔽(いんぺい)体質と、軍事優先の体質です。

たとえば、イージス艦が漁船を発見したのは、最初の発表では衝突二分前でした。ところが、丸一日たった翌日、実は十二分前だったと、変わりました。

しかも重大なのは、海上保安庁の捜査が始まる前に、防衛省が、ヘリコプターで、事故を起こしたイージス艦の航海長を、防衛省まで運んだことです。防衛大臣室で、大臣や事務次官も居合わせて、一体何をしたのか、疑惑が深まるばかりです。

漁船の往來が激しいところなのに、イージス艦の艦長は、そのことを「理解していなかった」といいます。漁船で混雑した海域で、自動操舵(そうだ)のまま進んだことといい、漁船の赤ランプを見て、事故を回避する義務を負ったのに、回避義務を怠ったことといい、イージス艦は、まるで、「そのけ、そのけ」のわがもの顔です。

国会は、防衛省と自衛隊の、根深い、隠蔽(いんぺい)体質と軍事優先体質を、徹底的に糾明するべきです。そのなかで、石破 茂防衛大臣の責任を、追求するべきではないでしょうか。

「ご近所のみなさん、日本共産党です。」
みなさん。

海上自衛隊イージス艦「あたご」と、漁船「清徳丸」の衝突事故に先だつて、沖縄県北谷(チャタン)町では、十四歳の女子中学生が、アメリカ軍の海兵隊員から、暴行を受けるという事件が、起こりました。少女は、若い人たちにぎわう沖縄市の繁華街から、バイクで連れ去られたあと、北谷(チャタン)町の公園近くで、車のなかで暴行を受けました。成長過程にある子どもの夢をつみとる、残酷な仕打ちそのものではないでしょうか。在日米軍とアメリカ政府に対して、厳しく抗議するものです。

みなさん。

沖縄では、十三年前にも、少女暴行事件が起きました。くり返される事件のおもとにあるのは、米軍基地です。

いわゆる「綱紀粛正」を何度くり返しても、基地被害がなくならないのは、在日米軍の中心が、海兵隊など、海外で戦争をする訓練、人を殺すことの訓練をうけている人たちだからです。海兵隊などの縮小と撤退、米軍基地の縮小・撤去こそ、進めるべきではないでしょうか。

「米軍再編」の名で、米軍と自衛隊の一体化を進め、横須賀をアメリカの原子力空母の母港にするなど、もつてのほかではないでしょうか。

日本共産党は、二十一世紀の日本を、米軍基地国家から抜け出た、自主的・平和的な国にきりかえるために、みなさんと力を合わせて頑張りたいと思います。ご協力、ありがとうございました。